

学会ニュースNo.117 トピックス

- ・2016年度(第71回)総会・研究発表大会プログラム
- ・秋季例会(鹿児島)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第2報)
- ・地理トピ
- ・会費納入のお願い

会告

○2016年度(第71回)総会・研究発表大会プログラム

日 時:2016年6月4日(土)10:00より

会 場:立正大学熊谷キャンパス アカデミックキューブ 2階
A205 教室(発表会場)・A201 教室(会員控室)

《口頭発表1》 10:00～10:40 ※口頭発表は交代の時間を含めて20分(発表15分、
質疑応答4分)。*は発表者。

A1 10:00～10:20 松尾忠直(立正大):企業による農業—モヤシの持続的生産

A2 10:20～10:40 本岡拓哉(立正大):戦後、バタヤ集落の「暮らし」を問い直す

《ポスター発表紹介》 10:40～11:00(各発表1分以内)

※掲示時間は10:00～15:00, 掲示場所は会場の掲示をご覧ください。

コアタイムは13:00～13:30とします。

P1 河野 忠*・李 盛源(立正大):荒川と利根川を涵養源とする地下水流動系の分離と
可視化

P2 郷原裕生(立正大・院):明治期から昭和戦前期の高知周縁地域における路面電車
導入に伴う市街地化過程

P3 船生泰寛(立正大・院):不定期に出現する湖沼の水収支～赤城山山頂火口湖
「血の池」の事例～

P4 片柳 勉(立正大):学生を主体とした地理学科と道の駅との連携活動

P5 鈴木重雄(立正大)*・長谷川樹生・飯山和也・望月奏岐(立正大・学):妻沼の河川・
水路における水質と水生生物の季節変化

P6 山田淳一(立正大)*・郷原裕生(立正大・院)・稲葉裕哉・山田旭仁・永西修也・岩谷恭
弥(立正大・学):国営武蔵丘陵森林公園へのアクセスにおけるバスマップの作成と評価

P7 高安 純*・中村俊一郎・櫻沢雅哉・中島拓也(立正大・学):白根山周辺における河川
の水質—湯川、長笹沢川、白砂川を事例として—

2016年5月

P8 高杉陽名*・高田基継・沼澤祐太(立正大・学) : 群馬県中之条町野尻湖周辺における
地表面の差異による気象変化

P9 中島健太*・秋山栞里・菅野椋太・関本雄太・真木雄平(立正大・学) : 2015年度 学生
研究プロジェクト研究成果報告

P10 梅賀亮太(立正大・院) : 埼玉県上尾市地域の台地上における集中大雨による内水
氾濫の浸水予測

P11 森本 拓*・岡部将大・小林瑞輝・沈 亜如(立正大・院)・小松陽介(立正大) : 紀伊
半島北山川、古座川における河川地形

P12 沈 亜如*・岡部将大・森本 拓・小林瑞輝(立正大・院)・小松陽介(立正大) : 熊野那智
大社の信仰

P13 岡部将大*・森本 拓・小林瑞輝・沈 亜如(立正大・院)・小松陽介(立正大) : 那智の
滝下流部の土石流の特徴と伏菟野地区の崩壊地

P14 小林瑞輝*・岡部将大・森本 拓・沈 亜如(立正大・院)・小松陽介(立正大) : 紀伊半
島におけるタフォニの形状

P15 君川静夫 : 等高線による地貌表現

P16 君川静夫 : 地図印刷器具の展示

《総会》11:00～12:00

《昼休み》12:00～13:00

A201 教室にて、展示・販売の予定です。

《ポスター発表のコアタイム》13:00～13:30

《口頭発表2》13:30～14:50 ※口頭発表は交代の時間を含めて20分(発表15分、
質疑応答4分)。*は発表者。

A3 13:30～13:50 貝沼恵美(立正大) : 多言語国家における英語教育の意義

A4 13:50～14:10 土屋衛治郎(立正大) : ものづくりコンテスト優勝学生からみえる多様な
学習拠点を活用したアクティブラーニングの可能性

A5 14:10～14:30 君川静夫 : 地図印刷の変遷

A6 14:30～14:50 戸田真夏(青山学院大・非、「台地の地理」研究委員会) : 秦野盆地の
特殊性と必然性

《休憩》14:50～15:00

《口頭発表3》15:00～16:20 ※口頭発表は交代の時間を含めて20分(発表15分、
質疑応答4分)。*は発表者。

A7 15:00～15:20 戸田真夏(青山学院大・非) : 2015年ネパール地震被災地の現状

2016年5月

A8 15:20～15:40 横山俊一(お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター・研):酸性河川を例とした環境課題の市民への普及について

A9 15:40～16:00 小室信幸(立正大・非)*・船生泰寛(立正大・院)・河野忠(立正大):
神津島における湧水の水質分析結果

A10 16:00～16:20 高村弘毅(立正大・名)*・Tashpolat TIYIP・Muhtar Qong:固定砂丘の
成長過程における年輪層(層縞)の形成と、層内に含有する結晶体を探る

《懇親会》17:00～19:00 学生食堂 ステラ(1階)で行います。

《地理写真》※掲示時間は 10:00～15:00, 掲示場所は会場の掲示をご覧ください。

G1 高橋宏光・武江翔太(立正大・卒)・沈 亜如・郷原裕生(立正大・院):長江下流域の
河岸都市における人文景観—上海市・南京市

G2 武江翔太・高橋宏光(立正大・卒)・郷原裕生(立正大・院):アメリカ合衆国・旧道
Route66 沿線都市における人文景観

G3 郷原裕生(立正大・院):変貌する「無錫旅情」を訪ねて—江蘇省無錫市

G4 保坂賢宏・野口拓也・木下友樹(立正大・学):海外フィールドワーク(アメリカ合衆国)1

G5 細田直孝・関本雄太・平林拓海(立正大・学):海外フィールドワーク(アメリカ合衆国)2
—レーニア山の動植物

G6 岩井田慧祐・細野宏一朗・関口 諒(立正大・学):海外フィールドワーク(アメリカ合衆
国)3

G7 渡部修也・原山拓也・小林亮太(立正大・学):海外フィールドワーク(アメリカ合衆国)4
—ワシントン州の住宅

G8 岡本歩佳・佐藤勇太・斉藤 稔・横山悠太(立正大・学):海外フィールドワーク(アメリカ
合衆国)5

G9 土屋貴彦(共栄アルミ工業株式会社):横浜市みなとみらい地区における都市景観

G10 飯山和也・長谷川樹生・望月奏岐(立正大・学):妻沼における四手網漁

G11 多田統一(東京都立浅草高等学校・非):研究所の風景—月刊「文芸広場」「研究所
めぐり」の取材を通して—

G12 原 美登里(立正大):スイス ベルンの噴水

G13 原 美登里(立正大):スイス チューリヒの噴水

G14 原山拓也(立正大・学):ワシントン州の農業景観と自然条件

○秋季例会(鹿児島)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第2報)

第39回立正地理学会秋季例会ならびに第45回講演会(予定)を11月26日(土)に、
第112回臨地研究会を11月27日(日)に、鹿児島大学およびその周辺にて実施する予
定です。詳しい内容に関するご案内は、後日、立正地理学会ホームページ
(<http://geo.rissho-map.jp>)にてお知らせします。皆様の参加をお待ちしております。

☆地理トピ☆

今回の地理トピから、数回にわたり地理に関するおすすめの WEB サイトについて紹介します。今回は島津会員のおすすめするスイスの WEB 版地形図(<https://map.geo.admin.ch>)について取り上げます。今年度の海外フィールドワークに参加する方や、それ以外の方も、ぜひ一度実際に試してみてください。

◇スイスにおける地図の概要

スイスの官製地形図は、Swiss Federal Office of Topography(通称 swisstopo)と呼ばれる連邦の地理院が発行しています。この地理院が発行している地形図は、精緻な地形表現や色使いがなされていることから、世界で最も美しい地図などと呼ばれることもあります。また、地図のデジタル化やオープン化に対しても先進的であり、現在ではインターネットに接続しているパソコンやタブレット端末などから WEB 版の地形図を無料で閲覧することができるように整備がされています。また、この WEB 版地形図は、地図が閲覧できるだけでなく、様々な機能を利用することが可能な WebGIS としての側面も持っています。そこで今回の地理トピでは、この WEB 版地形図の機能の一部について紹介します。

◇2.5D 表示

この機能は、地形図を鳥瞰図のように閲覧することが出来る機能です。スイスは国土の多くが山地で構成されており、また、観光地としても有名なマッターホルンを代表とする急峻な氷河地形が多く存在しているため、ダイナミックな地形が多く、見ごたえがあります(図 1)。この機能は、画面右側の「2.5D」と書かれているアイコンを選択することで、使用することができます。



図 1 2.5D 機能を使って作成したスイスの地形図
(swisstopo WEB 版地形図より)

◇時間旅行

この地形図の特徴的な機能の一つとして「The journey through time(時間旅行)」というものがあります。この機能は、ユーザーが任意に選んだ時代の地形図を閲覧することができるサービスであり、地形の変化や町並みの変遷、氷河の動き(図2)などを連続して試みることができます。この機能の使い方は以下の通りです。

1. 画面左上側にある「Open menu」というタブを開き、その中の「swisstopo」を選択します。
2. 「journey through time」を選択すると、画面右側に時計のアイコンが現れるので、これを選択します。
3. 画面上部に現れたスライダーを左右に移動することで、任意の時代の地形図を閲覧することができるようになります。

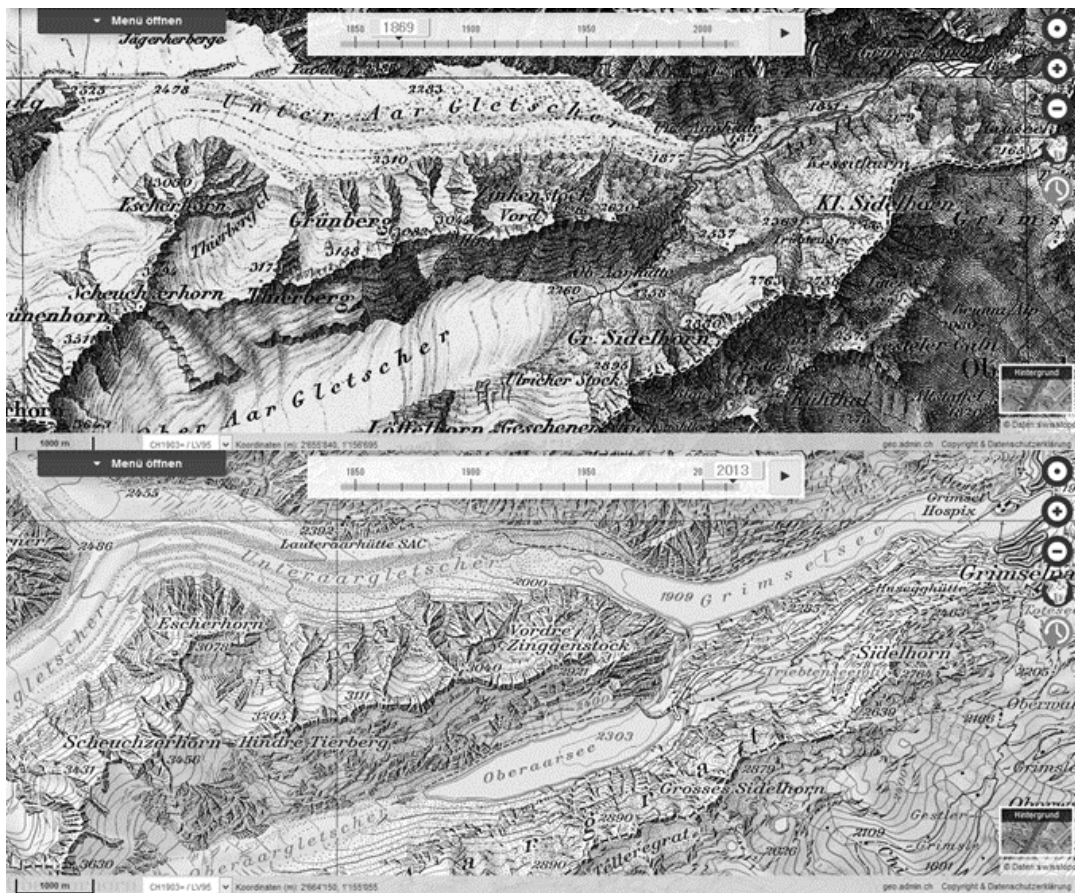


図2 氷河地形の時代による変化の様子
(swisstopo WEB 版地形図より)

(島津弘会員, 飯山和也広報委員)

○会費納入のお願い

2016年度分の会費は、同封致しました払込取扱票にてご納入いただくか、立正地理学会総会・研究発表大会当日に、受付にて納入いただきたく存じます。また、今回の学会ニュースには「会費納入状況のお知らせ」を同封しましたのでご確認いただき、過年度分の会費が未納の方は、あわせてご納入願います。会費の金額および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000円 学生会員 2,500円
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下の通りです。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際は、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

(庶務会計委員会)

編集後記

熊谷キャンパスに吹き抜ける風がなんとも心地よく感じられる季節となりました。来月には立正地理学会の総会・研究大会が行われます。その際に、会員の皆様に広報委員よりインタビューさせて頂きたく存じます。ご協力のほど、よろしく願いいたします。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

(広報委員 松澤希望)

立正地理学会ニュース No.117

2016年5月16日発行 編集者 立正地理学会広報委員会
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内
電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453